

摂関政治と国風文化

今日の問い

藤原氏はどのように政治の実権をにぎり、どんな文化が栄えたのだろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 藤原氏はどう力をつけたか。

摂政・関白・藤原道長

藤原氏は娘を天皇のきさきにし、天皇が幼いときは¹ 摂政、成人後は² 関白として政治の実権をにぎった。これを³ 摂関政治といい、11世紀前半の⁴ 藤原道長と子の頼通のころに最も栄えた。

2 どんな文化が栄えたか。

かな文字・源氏物語

日本の風土や生活に合った⁵ 国風文化が栄え、⁶ かな文字を使って紫式部が⁷ 源氏物語を書いた。極楽浄土への生まれ変わりを願う⁸ 浄土信仰が広まり、藤原頼通は⁹ 平等院鳳凰堂を建てた。

年表 — この単元のできごと

11世紀初め

紫式部が源氏物語を書く

1016

藤原道長が摂政になる

1053

藤原頼通が平等院鳳凰堂を建てる

まとめ

今日の問いに答えよう。「摂関政治」「国風文化」の2語を使って、2文で書きなさい。

(例)藤原氏は娘を天皇のきさきにし、摂政・関白として実権をにぎる摂関政治を行った。このころ、かな文字を使った源氏物語など、日本の風土に合った国風文化が栄えた。

☐ 摂政と関白のちがいを説明できる

☐ 藤原氏が力をもった理由がわかる

☐ 国風文化の作品を2つ言える

できた

/ 9



chiritsumo-drill.com
ほかのプリントは [こちら](#)



ちりつもドリル

学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。

1 / 1

G7-REKI-SEKKAN-NOTE-01-A